



## 発行所

関西配管工事業協同組合  
〒531-0071  
大阪市北区中津1-2-19  
新清風ビル7階  
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

## 編集者

事業部・教育情報部  
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>  
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日  
平成28年7月28日

Vol.64



## 関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

## もくじ



● 第20回通常総会開催 .....	2
● 平成28年度事業計画 .....	3
● 組合役員構成 .....	3
● 日管連・第11回総会を大阪で開催 .....	4
● 認定職業訓練講座開講 .....	7
● 3団体懇談会を開催 .....	8
● 新入会員 .....	8
● 4団体協議会を開催 .....	9
● 青年部会がオーエヌ工業見学 .....	10
● 日管連・全国青年部会が交流会 .....	10
● 理事会議事要旨 .....	11
● 竹中工務店と意見交換会開催 .....	12
● 建築・土木技能体験フェアに出展 .....	12
● 消費税問題は「転嫁Gメン」へ .....	12

# より一層信頼される専門工事業めざす

## 技術・技能の向上と継承に注力



組合の第20回通常総会は5月26日、組合事務局近くの大坂市北区の三栄ビル会議室で開催し、専門工事業として一層信頼される業界づくりをめざし、技術・技能の向上と継承に務めていくことを再確認しました。また、建設業として共通の課題を抱える関連団体との意見・情報を図り、課題克服に共同して対応していくことも申し合わせました。

総会は小阪武司理事の司会で進められ、立花忠夫理事を議長に選出して議事に入り、平成27年度事業報告・会計報告を行い、28年度の事業計画・予算を決めました。

今年度も引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会（日管

連）と連携して業界の社会的地位の向上を図ることを確認し、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向けた各種研修・講習に力を注ぐこととしました。

また、ダクト工事業（近畿ダクト工事業協同組合）、保温保冷工事業（近畿保温保冷工業協会）と共にする課題が数多くあることから、これら2団体と組織する「関連3団体懇談会」で意見・情報を交換していくことを申し合せたほか、3団体に工事発注元であるサブコン団体（大阪空気調和衛生工業協会）が加わった「関連4団体協議会」でも設備工事業全體で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探っていくこと



挨拶する玉川理事長

としました。

冒頭挨拶で玉川義光理事長は「建設業の景況は概ね堅調に推移するといわれているが、技能労働者不足と受注価格の改善はみられず、元請の受注競争や社会保険加入促進への課題、さらに技能労働者の老齢化問題もあって不透明感が強まっている」とし、「専門工事業界も採算性を度外視した一方的価格による発注などにより、十分な教育がなされていない労働者が増え、技術・安全部がおろそかになって施工不良を発生しかねない状態にある。専門工事業として発注先から信頼される業界をめざし、今まで以上に技術・技能の向上に努めたい」と改めて決意を示しました。



議長を務める立花理事



議事のもよう

# ◇平成28年度事業計画◇

(28年4月1日～29年3月31日)

## 【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
  - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演会・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
  - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力する
  - (2) 設備関係の団体との懇談会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
  - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
  - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
  - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を随時開催し、情報交換を図る
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部会の活動事業を支援する
6. 平成28年度に関西地区で開催される日管連定期総会・懇親会・親睦ゴルフコンペ・宿泊観光に参加するとともに、開催運営に支援協力する
7. 平成8年9月11日に協同組合を設立登記し、満20年の節目を迎えるため、協同組合設立20周年記念祝賀会を開催する

## 【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行を計画する
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上を図る

## 【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技

術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める

2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する
3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図るため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の中期目標3000名達成、長期目標6000名に向けて「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る

## 【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会並びに大阪府青年中央会との親睦・交流を図る
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする
7. 「助け合いネット」の利用により、会員企業間でのリアルタイムの活用推進

## 組合役員構成

- 理 事 長 玉川 義光 (玉川設備環境)  
副理事長 山田 誠香 (株寿工業所)  
副理事長 庄司 真之 (株ツカサ)  
理 事 加藤 猛 (株ティ・エム・プラント)  
理 事 和田 吉成 (株和田設備工業)  
理 事 中野 広造 (中野設備工業株)  
理 事 池成 信夫 ((有)信成設備工業)  
理 事 小阪 武司 (小阪設備工業株)  
理 事 立花 忠夫 (株藤尾設備工業所)  
監 事 岡崎 照雄 (岡崎産業株)

## 部 会

- 総 务 部・部会長 庄司 真之  
事 業 部・部会長 山田 誠香  
教育情報部・部会長 玉川 義光

## 青年部会

- 部 会 長 朝倉 博昭 (日管連青年部会部会長)  
副部会長 斎藤 竜久

## 関西組合の担当で盛大に開催

実践スローガンで「技能の伝承と人材育成」打ち出す

日本配管工事業団体連合会（日管連、会長當木仁氏）の平成28年度（第11回）定時総会は関西組合の開催担当で7月8日、大阪市都島区の太閤園で開催され、「適正利潤の確保」に向け結集するとともに、登録配管基幹技能者の活用や社会保険加入促進、青年部会の活動支援など多彩な平成28年度事業計画を決めたほか、今年度実践スローガンとして「技能の伝承、人材育成、社会に貢献、日管連！」を決議しました。

今回の総会には全国7団体の代表者らで構成する日管連役員が出席し、そのあと催した懇親会には国会議員、大阪府議会議員をはじめ、関連官庁・団体やサブコンの代表者などの来賓に関西組合の組合員・賛助会員・青年部員が加わり、合わせて112名が参集しました。

総会は小阪武司代議員（関西組合理事）の司会で進められ、まず玉川義光副会長（関西組合理事



円内は挨拶する當木会長

長）が「配管業界では技能の伝承など数多くの難しい課題を抱えている。いかに社会に貢献できるかを全国の会員の皆様と考えていきたい」と挨拶しました。次いで、當木会長が挨拶に立ち、「大手をはじめとする建設業界はここ数年、堅調な業績で推移しているが、われわれの業界にはそうしたことが回ってきていない。ただ、建設業界には若者の入職、技術・技能者不足など共通の課題があり、共同して課題を克服したい。技術・技能のレベルアップで信用をつかもう」と述べました。

このあと、同氏を議長に議事に入り、平成27年度事業・決算報告に続き、28年度の事業計画・予算を決定しました。

今年度の事業については、登録配管基幹技能者の育成と活用促進を中心に、国土交通省と各自治体、建設関連団体が取り組んでいる社会保険加入促進、設備工事3



総会司会を務める小阪代議員

団体（配管・ダクト・保温保冷）での情報・意見交換、青年部組織への支援、来年2月の空調衛生関連展「MACS」の開催、事業継続計画（BCP）の展開などに取り組んでいくこととした。

また、平成28年度スローガンを決議し、人と建物の快適環境をパイプラインで結ぶ建築設備配管工事業であることの自覚を持ち、力強く一致団結してスローガンを実践していくことを確認しました。

任期満了に伴う役員改選では、地区団体の役員交代により一部の日管連理事が交代したほかは留任となりました。関西組合関係では玉川義光理事（日管連副会長＝関西組合理事長）、山田誠香理事（関西組合副理事長）、庄司真之理事（同）が再任されました。

# 内容充実の安全大会も併催

引き続き、庄司理事の司会で「安全大会」が開催されました。大会では、第1部として、関東組合が取り組んでいる「BCP」事業について同組合の増田幸康副理事長(日管連理事)が説明しました。



安全大会は庄司理事の司会で進行



「お助けネット」の概要説明

この中で増田氏は同組合のBCP事業は、地震、大規模水害などの災害時に組合が組合員の状況を一元的にまとめて関係者に発信することで、相互扶助の関係を醸成するとともに、被災企業の状況を発注者サイドにしらせることにより受注の機会をなくさないような仕組みを構築するのが基本であると説明し、今後、関東組合だけでなく、全国の組合にも水平展開したいという考えを示しました。

第2部は、日管連青年部会・関西組合青年部が中心となって進めている「助け合いネット」の活用について関西組合青年部の斎藤竜久氏と入佐裕之氏が概要を説明しました。「助け合いネット」は、

技能者の不足など困っている企業に余裕のある企業から人材を回すなどして助け合おうというものです。作業員不足の解消、急な予定変更に伴う受注機会喪失の防止などを図ることができます。両氏の説明では「場の提供」が基本目的であることを強調しました。このネットワーク網を拡充することで、組合として横のつながりを強化し、ひいては組合の活性化に結びつけようとしています。



城口氏の発声で乾杯

このあと、来賓を交えて懇親会が催され、玉川副会長が歓迎の言葉を述べ、當木会長は「若手技能者の育成とともに、技術・技能を磨いていきたい。個々の企業では解決できない課題克服に共同して取り組みたい」と決意を示しました。

来賓からは中山泰秀衆議院議員が「配管は建物できわめて重要」



「お助けネット」の概要説明

と強調し「安全第一に適正利潤に向け前進してほしい」と激励しました。このあとも大阪府議会の花谷充渝副議長と西野しげる議員が激励を込めて来賓挨拶を行いました。懇親会は大阪空気調和衛生工業協会の城口俊雄副会長の「カンカン カンパイ」の発声で開宴。女性和太鼓ユニット「びんか」による勇壮でリズミカルな演奏を聞きながら賑やかな交歓が繰り広げられました。



懇親会で歓迎の言葉を述べる玉川副会長



和やかな交歓が繰り広げられた

終宴間近に次回開催担当の北海道組合・横田昇理事長（日管連副会長）が挨拶し、最後に山田誠香理事（関西組合副理事長）が「明日に向かって希望を持てる業界をめざそう」と述べ、同氏の音頭で

一本締めを行い、配管工事業の発展を祈念しました。

翌9日は有志による親睦ゴルフコンペが「秋津原ゴルフクラブ」で実施されました。さらに、9日から1泊2日の日程で世界遺産

「高野山」で奥の院参拝や深山の自然散策、また玉川副会長が運営する「アドベンチャーランド」でバーベキューを楽しみながら賑やかに交歓しました。



和太鼓のアトラクション



開会の言葉を述べる山田理事



高野山観光（奥の院近くで）



アドベンチャーランドで賑やかにバーベキュー

## 平成28年度認定職業訓練講座

### 延べ15日間、熱心に受講

組合の教育情報部会（部会長・玉川義光理事長）が担当している平成28年度認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース、第18期）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講生は1級配管技能士の資格取得をめざし熱心にカリキュラムに取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。

講座は、ポリテクセンター兵庫で4月10日にスタート、9月4日までの日曜日、延べ15日間・120時間（25教科）にわたって続けられます。

今年度は昨年度より10人多い30人（21社）の講習生が13人の講師から学んでいます。すでにこれまで流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管、



製図などの教科講義が行われ、これから施工法の一部、関係法規、安全衛生などの教科が続きます。最終日に全教科の総まとめ（監督・玉川義光教育情報部会長）と修了試験が行われます。

受講者の皆さんは酷暑の中、休日返上で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、これからも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

#### 【講師の先生】（50音順、敬称略）

- ◇大原 明 ◇鬼武 孝一
- ◇金野 義弘 ◇柴田 健治
- ◇鈴木 香次 ◇澄川 史朗
- ◇瀧口 佳典 ◇玉川 義光
- ◇土居 世輝雄 ◇直江 健
- ◇原本 昌興 ◇宮本 泰仁
- ◇森 良則

#### 【受講者】（社名50音順、敬称略）

- ◇淡島設備 = 松本晃和、古賀邦彦、高瀬正人、勝田 忠
- ◇カワタプラントサービス = 上野 武彦
- ◇呉機工商会 = 清山茂樹、上田勝茂
- ◇寿工業所 = 佐々木友希
- ◇サンキ工事 = 岸 雅博
- ◇三協共同設備 = 尾崎文則、渡部功二
- ◇玉川設備環境 = 程野伸也、吉原弘介、瀬田広太
- ◇ツカサ = 大野幸亮
- ◇翼工業 = 後藤一生
- ◇東和管工 = 小川正基
- ◇藤和工業 = 石橋孝之、清水宣征
- ◇内藤設備工業 = 内藤圭亮
- ◇中井設備 = 那須健次
- ◇フクヤマ = 伊藤誠之
- ◇増田工業 = 萩 聰司
- ◇松岡設備 = 藤岡加州也
- ◇三浦商会 = 三浦康宏
- ◇宮崎工業所 = 宮崎 亮
- ◇宮本設備工業 = 森崎智巳、久保田隆則
- ◇山本設備 = 大長和典
- ◇ワールドE.N.G = 北條竜治



# 第39回「3団体懇談会」開く

## 「社保問題」「人手問題」で情報交換

当組合と近畿ダクト工事業協同組合（ダクト工事団体）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体）で構成する「3団体懇談会」は3月7日、組合事務局近くの三栄ビル会議室で第39回会合を開き、社会保険未加入問題の進捗状況と今後の対策、現状の人手不足（作業員）や受注価格について意見・情報交換しました。



社会保険未加入対策の進捗状況については、「徐々に加入状況は改善されている。しかし55歳以上は加入しないことが多い」「5人未満の事業者も含めて、今後、労働者は社会保険に加入せざるを得なくなる」といった見方が大勢を占めました。ただ、「雇用保険には入りづらいのが現状」などの声も上がりました。

これに関連して、法定福利費のネゴについて意見が交わされ、「契約金額に反映されつつある。材料と工事が分かれているので表示しやすい」（配管）、「今後は、注文書に反映されるべきだ」（ダクト）、「複合単価が多いので、全

体のネゴ対象になってしまう」（保温保冷）と業種によって取り組み方に違いがあることが報告されました。

意見交換の結果、「今後、官公庁の現地調査などでわれわれの3業種が一番先に調査されるかもしれない。保険未加入者は現場に入れなくなるのが現実となる可能性は大きい」との見方で一致しま

した。

現状の人手不足については「全体的に人手不足ではないが、衛生配管工は多少足りない感じもある」（配管）、「大阪地区の人手不足は一服気味。他の地区へ出張している。来年度は見込みある」（ダクト）などの状況が報告されました。

受注価格については「若干上がっているが、今が踏ん張りどころ。絶対に安値受注をしないことが大事」（配管）、「地方の方が大阪より受注単価がよい。大阪も年末ごろにはよくなつてほしいが、安値受注しないように気をつけてはいる」（保温保冷）などの意見が

示されました。

また、配管業界の繁忙状況については、九州と広島地区が人手不足、中部地区は一時より落ち込んでいる、関東地区は忙しい状況が続いている、東北は震災復興が少し落ち込んでいる感がある、北海道ではやや単価アップ傾向にある——など日本配管工事業連合会の会合の席などで得た情報が報告されました。このほか、「配管さんのインターンシップに参加したいので、その時に人材を派遣してみたい」（保温）という要望も出ました。

## 新入会員

### 【組合員】

#### （株）岸沢設備工産

代表者 岸沢 重和氏

〒579-8001

大阪府東大阪市善根寺町5-1-38

Tel.072-981-1671

Fax.072-981-0733

#### 松竹配管工業（株）

代表者 竹内 昭五氏

〒590-0974

大阪府堺市堺区大浜北町

2-1-7-1219号

Tel.072-247-8466

Fax.072-247-8478

### 【賛助会員】

#### タカラ通商（株）

代表者 川西 雅裕氏

〒540-0019

大阪市中央区和泉町2-2-19

Tel.06-6946-9203

Fax.06-6946-1158

#### ライフパートナー（株）

代表者 張 俊氏

〒598-0048

大阪府泉佐野市りんくう

往来北1番

りんくうゲートタワービル19階

Tel.072-469-1616

Fax.072-469-1618

## 4団体協議会を開催

### 「女性技能者」活用で意見交換

当組合と近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会、サブコン団体の大空気調和衛生工業協会（大空衛）の4つの設備工事関連団体で組織する4団体協議会の第21回会合が3月28日に大空衛事務局のある新トヤマビル3階の会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険未加入問題」、「女性技能者の採用拡大」などで意見・情報を交換しました。

会合には10名が出席。保険未加入問題については、近畿地方整備局発注の工事（兵庫県明石市の現場）で一次下請が保険未加入のため1カ月の指名停止、制裁金10%、工事成績評定13点減点の措置（施工体制台帳で発覚・一次下請業者はすぐ社会保険加入も処分は実施）がとられたことが報告されました。国は、平成29年度から保険未加入業者完全排除をするとしていましたが、前倒しで取り組んでいる様子がうかがえるということです。

意見交換の中で、「国は本気で取り組んでいるが、民間発注工事では、そういった方向にはまだまだの状況である」、「保険加入による企業負担を考えると、本年2月、国土交通省が設計労務単価を引き上げたが、企業が負担する保険費用を含めた労務単価とはいい難い。まだまだ現実とは開きがある」、「4人以下の適用除外企業で、各個人で国民年金に加入している者は少ない。将来の年金に対する不信感が根強い」、「保険未加



入対策の強化で、一人親方が増える可能性がある。その場合、請負として認められるか、請負金額のあり方が問題となる」などの意見が出ました。

「女性技能者」については、外国人技能実習生の話題があるが、生活習慣、文化の違いにより現場で技能を十分發揮できるか不安であるなどとして、「意欲のある女性なら、配管工事などで十分通用する。女性の採用拡大を図ることは重要である」という見方が示されました。ただ、現実問題として「女性の進出の最大の壁は、勤務時間である。朝の朝礼から1日拘束する現在の状況では、女性はなかなか入って来られない」という意見が多く、「女性の勤務時間を午前10時から午後3時にしていけば相当の女性が入ってくるのではないか」という意見も出されました。

さらに、「朝の朝礼に参加しないと現場に入れないという今の体制を大幅に変えることが必要だ」、「女性技能者を増加させるには、現場の環境改善も欠かせず、女性専用トイレ、女性専用更衣室、女性専用の休憩室を設ける必要があ

る」などの意見が示されました。

一方、ダクト、保温業界では、すでに工場でかなりの女性技能者が働いている現状が報告され、「現場に女性の活躍の場を広げれば、女性ならではの良さを發揮することができる」、「女性技能者は、きめの細かい仕事も丁寧にこなす。今後、女性の活躍の場を拡大することを真剣に考えていく必要がある」との見方で意見が一致しました。

「建設現場の休日」についての意見交換では、国土交通省では週休2日制のモデル現場を徐々に増やす意向であることが報告されました。ただ、「現場の状況は、週休1日の確保はほぼ定着しているが、日曜日をきちんと休日にできるかといえば現場の工程の都合で難しい」という見方も示され、「休日を確実に確保するためには、それを織り込んだ工程を作成しなければならない」、「現状は、工期内の完成が最優先される。これを変えていくには公共工事で休日を前提とした工期設定の事例を積み重ね、民間発注にも及ぼしていくということが必要である」という意見が大勢を占めました。

# 青年部会活動

## オーエヌ工業の工場を見学

組合青年部会（部会長朝倉博昭氏）は7月15日、勉強会として岡山県津山市にあるステンレス配管メーカーのオーエヌ工業（社長中村政弘氏）の工場見学会を実施しました。新工場（第2工場）を中心同社の主力製品「ナイスジョイント」の製造工程などを見て回りました。

同社はステンレス配管製品の専門メーカーとして豊富な実績と伝統を持っています。建築用ステンレス配管、工業用ステンレス配管およびバルブなどを鋳造から加工、組立、出荷まで徹底した品質管理の中で一貫生産し、需要層から高く評価されています。

参加した青年部会員16名は現地集合で昼過ぎに同社本社に到着し、江原泰道・大阪所長の案内で、まず本社鋳造工場を見学。ス



テンレス鋳造で重要な熱処理の試験を行うマイクロスコープや震度7を想定した耐震試験装置など高精度分析機、検査装置機などを見学しました。

引き続き、2年前に完成した第2工場に移動。同社の会社概要を映像で観たあと、昨年、累計出荷3500万個に達した「ナイスジョイント」の加工、組立、検査、出荷工程などをつぶさに見て回りました。パイプの継手加工では熟練の技能が求められますが、ナイスジョイントは専用の拡管機を使用し

簡単に公差（許容差）を拡管することで修正を行い、専門的な技術がなくても同じ形状のものが短時間で作業が行えるとして配管業界で評価されています。

見学の最後に朝倉青年部会長は「きれいな工場と最新の設備を見学させてもらい、大変参考になった。この業界で活躍されるメーカーだと再認識できた」とお礼を述べました。見学終了後、ホテルに移動して懇親会を催し、翌日にはゴルフコンペと周辺観光をして親交を深めました。

## 日管連全国青年部会

### 名古屋で交流会開催

日本配管工事業団体連合会（日管連）傘下の各地区団体青年部会で組織する全国青年部会（部会長朝倉博昭氏=関西団体青年部会長）は5月21日、全国部会長交流会を名古屋市北区のアサダ本社の会議室で開催し、約30名が参加しました。

各地区の近況報告に続き、中部団体青年部会の定例会が開かれたほか、アサダ、シーケー金属両社



の担当者による商品勉強会も行われました。勉強会では新商品の特性や具体的な用途などが説明され、施工方法も実演されました。

次いで、関西団体青年部会から職人不足・仕事不足の情報を共有可能にする運営サイト「日管連・助け合いネット」の現況報告が行われました。今後、全国の会員が

運営サイトを通じ、「応援したい会社」と「仕事を求める会社」の情報をマッチングさせ、ビジネスチャンスにつなげていけるよう積極的に採用するよう呼びかけられました。また、全国青年部会の総会（中国地区で10月開催）の計画進捗について話し合われ、このあと懇親会を催しました。

# 理事会 議事要旨

## 【28年3月】

- ①平成28年度新年賀詞交歓会終了報告
- ②平成28年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ③宮本祥子氏ものづくりマイスター認定証（配管）受領報告
- ④国土交通省近畿地方整備局主催の「第4回社会保険未加入対策推進近畿地方協議会」出席報告
- ⑤日管連理事会出席報告
- ⑥組合員からの脱退申し出の件
- ⑦賛助会員の加入申し込みの件
- ⑧大阪府建団連主催の「第3回建築・土木技能体験フェア」の参画検討
- ⑨平成28年度第20回通常総会開催日程と開催場所・方法の検討
- ⑩平成28年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討
- ⑪日管連安全大会の開催に伴う実施内容の検討
- ⑫日管連・平成28年度定時総会時に決議する実践スローガンの決議（案）決定
- ⑬日管連・平成28年度定時総会時に開催する懇親会・二次会の概算予算について
- ⑭その他

——大阪配管高等職業訓練校の第54期訓練生募集案内  
——大阪府立北大阪高等職業技術専門校の平成28年度テクノ講座実施内容について  
——同上より職業訓練指導員の短期実施研修の依頼について

## 【28年4月】

- ①平成27年度後期技能検定試験1級配管（建築配管作業）受検結果報告
- ②平成28年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申込者報告並びにカリキュラム・担当講師の決定報告と開講について

- ③第39回3団体懇談会出席報告
- ④大空衛主催の第21回4団体協議会出席報告
- ⑤組合員の加入申し込みの件
- ⑥平成28年度1級配管技能検定受検対策実技講習の実施日程と講習会場について
- ⑦日管連役員（理事）・代議員の任期満了に伴う改選にあたり、当組合からの役員及び代議員の選出について
- ⑧株竹中工務店大阪本店との意見交換会開催（第2回）について
- ⑨平成28年度組合行事計画予定表の作成について
- ⑩平成28年度組合事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の策定について
- ⑪日管連・平成28年度定時総会開催に伴う概算経費予算とその分担割合について
- ⑫日管連・平成28年度定時総会開催時の懇親会への当組合関係の案内先リストの作成について
- ⑬協同組合設立20周年記念祝賀会開催に伴う準備事項の検討
- ⑭その他

——5月定例理事会開催日と開催場所の変更について

## 【28年5月】（2回目）

- ①日管連・理事会出席報告
- ②通常総会の運営順序についての打ち合わせ
- ③日管連・平成28年度理事会・定期総会・懇親会・二次会・ゴルフ・観光の出席人数について
- ④その他

——日管連からの依頼「熊本地震災害支援金」について

——大阪府中央会からのお願い「平成28年熊本地震中央会義援金」の募集について

——日管連・定期総会後の懇親会開催の案内通知文（案）について

## 【28年6月】（臨時理事会）

- ①組合決算関係書類並びに税務関係書類の提出と納税完了報告
- ②大空衛主催・第8回配管技能コンテスト参加申込者の当組合からの推薦報告
- ③賛助会員の加入申し込みの件
- ④平成27年度脱退組合員に対する出資金払い戻しについて
- ⑤平成28年度・日管連定期総会に伴う準備事項について
- ⑥その他

——7月定例理事会開催日と開催場所の変更並びに8月定例理事会休会について

——組合員の加入申し込みの件

## 【28年7月】

- ①賛助会員からの脱退申し出の件
- ②平成28年度日管連定期総会開催に伴う準備事項の最終確認について
- ③その他

——第3回建築・土木技能体験フェア（技フェスタ）2016の開催について

## 竹中工務店と意見交換会

組合は5月12日、昨年に引き続き、大手ゼネコン・竹中工務店との意見交換会を大阪市中央区の同社大阪本店のイノベーションサロンで開催しました。

意見交換会は庄司真之副理事長の司会で進められ、冒頭、玉川義光理事長が「前回の意見交換会はとても有意義な会合であり、今回もこのような機会を与えてもらい、感謝している。関西の現場でお互いが協力し合えるように、前

向きな意見を交わしたい」と述べました。これに応えて竹中工務店大阪本店の吉川淳次長は「皆さんとともに業界を盛り上げていくため、活発な意見を期待している」と挨拶しました。

意見交換会は業界が抱える諸問題について話し合い、とくに「作業所の生産性を上げるための取り組みについて（樹脂配管の活用）」をテーマに活発な意見交換が行われました。また、「作業員の確保、若い人の入職のための取り組みについて（女性作業員の採用）」では、実際に女性社員を雇



用するには職種やいくつかの条件をクリアできないと困難な現状があるとし、竹中工務店ではプロジェクトを立ち上げて、就業時間の問題などを考慮しモデル現場などで実践していくことを示しました。

## 建築・土木技能体験フェアに出展

大阪府建団連・雇用推進研究会などが主催する「第3回建築・土木技能体験フェア2016」が7月15・16日の2日間、大阪市鶴見区の花博記念公園（鶴見緑地）の「水の館（ハナミズキホール）」で開催され、当組合も配管施工の技術力を来場者に紹介しました。

当組合は前回に引き続き、協賛団体として参加し、近畿ダクト工



事業協同組合の協力を得て、寿工業所と増田工業が担当となり、設備ブースに出展しました。

ブースでは昨年夏に開催された配管技能コンテスト（大阪空気調和衛生工業協会主催）の優秀作品の展示や穴の開いた塩ビ管を切断しての笛づくり、鉄板のハゼ組立でタワーを完成させる体験コーナーを用意し、当組合理事で信成設備工業社長の池成信夫氏と近畿ダクト工事業協同組合前理事長で増田工業社長の増田岳史氏などが中心となって来場者に配管・ダクト施工の面白さと職人技をアピールしました。

## 消費税の転嫁でお困りの方

- ・取引先から消費税が支払われない…
- ・税率アップ後も税込単価が変わらない…

中小企業庁や最寄の経済産業局にご相談ください！  
転嫁Gメンがあなたの相談に応じます。

### 消費税の転嫁でお困りの方

- ・取引先から消費税が支払われない…
- ・税率アップ後も税込単価が変わらない…
- ・免税事業者を理由に消費税が支払われない
- ・支払いの際に、消費税分を差し引かれた

転嫁Gメンがあなたの相談に応じます！

秘密は絶対に守ります。

ご相談ください！

### WEBでも情報の申告ができます！

アクセスはこちらから

<http://www.shinkoku.go.jp/shinkoku/>

または 申告情報受付窓口 検索

〒540-8583

大阪市中央区大手前一丁目5番44号

経済産業省 近畿経済産業局

消費税転嫁対策室 06-6966-6038